一般社団法人
発明推進協会

ライブ配信講座 Zoom

～発明が生まれる開発現場の知財力を強化する～

# 一枚図解でわかる 新規性・進歩性

――発明とは何なのかを理解して、その先のイノベーションへ！

| | | | |
|---|---|---|---|
| 講師 | 小林　淳一　氏 | 株式会社アイピー・ワークス<br>弁理士（特定侵害訴訟代理業務付記）<br>／中小企業診断士 | |
| 日時 | 2026年10月21日（水）13:30～16:30 | | |

特許取得の関門である「**進歩性**」。この言葉の響きから、『**特許されるのは「すごく進歩した発明」だけ。私の発明は進歩からはほど遠いので特許なんか取れない…』と感じていませんか？**

本セミナーでは、メーカーで15年以上の研究開発経験を持ち、長年にわたり特許の権利化を支援してきた弁理士が、新規性・進歩性の考え方を、発明の源泉である開発現場のみなさまにもできるだけわかりやすく解説します。**開発の上流段階で知っておきたいポイントに絞って、新規性と進歩性の審査を、A4一枚の図**に収めてお持ち帰りいただきます。**拒絶理由通知への対応も、この一枚で読み解けるようになります。**

審査官がどのような視点で発明を見ているのかを知り、開発現場のちょっとしたアイデアを見逃さない目を養うことで、「私のアイデアでも特許が取れそう！」という気づきが得られます。

そして、審査基準のその先へ。**「進歩性」と「イノベーション」との関係性をひも解くことで**、「自分たちの発明が、世の中の役に立っている！」を感じるきっかけを作り、開発現場のモチベーション向上につなげます。

**対象**

- 特許出願のノルマに追われて、開発が忙しくてそれどころではないのだけれど…と困っている研究開発部門の方
- 研究開発部門からの発明提案が滞り、出願目標件数に届かず困っている知財部門の方
- 「進歩性ってどういうこと？」と質問されて、わかりやすく説明したいと感じている、若手知財部員育成や社内教育に携わる方

**本セミナーご受講により…**

- ▸▸「自分のアイデアが特許になりうる」という手応えを感じられます
- ▸▸発明提案書を書く時の勘所が得られます
- ▸▸拒絶理由通知を受け取った発明者が、まず何をすればよいかが分かります

**＜アジェンダ（予定）＞**

1. 一枚図解：新規性と進歩性
2. 「進歩性」という言葉が、誤解を生んでいる
――特許庁は「優れた発明」かどうかを判断していない
3. リアルな拒絶理由通知とその対応
――「優れた点」を主張する前に「相違点」を主張する
4. 結局、進歩性とは何なのか
―― 「進歩性」とは従来技術からの距離
5. イノベーションについて
――シュンペーターが指摘したこと
6. なぜ「進歩性の理解が大切」なのか
――「進歩性」と「イノベーション」との密接な関係性をひも解く
7. もう一度、一枚図解：新規性と進歩性
8. 審査基準のその先へ：発明のベクトル
―― 発明とは何なのか？進歩性とは何なのか？誰のための発明なのか？

テキストはPDFで共有させて頂きます